

44 ひら お たいしやほんでん  
平尾大社本殿



指 定 市有形文化財 昭和49年12月 1 日  
所在地 上 平 尾  
所有者 平尾大社



社殿は一間社流れ造り、柿葺<sup>こけらぶき</sup>。祭神には品蛇和気命<sup>ほんだ わけのみこと</sup>を祭っている。

天文年間より領主平尾氏の崇敬篤く、天正3年（1575）平尾右近将監源守芳<sup>うこんしょうげん</sup>の本願によって、建て替えられたものである。

鬼板のひれと千木は桃山時代（1574～1602）の風格を伝えている上、長押の細手なことも当時の様をよく残している。

戦乱時代で中央との接触がはばまれたためか、統一された型がなされず、大瓶東にはまげいろの飾りがみられ、海老虹梁<sup>えびこうりょう</sup>（高低差のある所に湾曲にして架した梁）の曲りも著しい。また雲形や木鼻の力量感も特異で、絵様の繰り方など稚拙とも見えるが、地方色豊かで当時の建築様式を知る上に、極めて貴重な存在である。

参考資料 「平尾守芳とその一統」 榎澤龍吉